

第3次四條畷市子ども読書活動推進計画

～本の森、それは子どもへのおくりもの～



グリーンホール田原前モニュメント



市民総合センター前モニュメント

絵本作家谷口智則氏デザイン

平成31年（2019年）3月

四條畷市教育委員会

はじめに

子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、子どもの健やかな成長に資することを趣旨に、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布されました。

この法律に基づき、国は14年8月「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第一次）を、大阪府が15年1月「子ども読書活動推進計画」（第1次）を策定されました。

これらの計画を踏まえ、本市では、19年3月に「第1次四條畷市子ども読書活動推進計画」（以下、「第1次計画」という。）、26年3月に「第2次四條畷市子ども読書活動推進計画」（以下、第2次計画という。）を策定し、子どもの読書環境の向上に努めています。

本市が第1次計画を策定してから10年、子どもたちを取り巻く環境は、テレビやインターネット、スマートフォン等の情報メディアが飛躍的な進展を果たし、とりわけ、ソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）の普及は顕著であり、人と人をつなぐコミュニケーションに大きな変革をもたらしています。

そうした社会変化のなかにあっても、本はこれまでと変わらない貴重な感動をあたえてくれます。

また、心を動かされる本との出会いを通して、子どもたちは言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を育み、心を豊かにすることができます。

従って、子どもたちが生きる力を身に付けていくうえで、読書は欠かすことのできないものと言えましょう。

本市では、今後、尚一層進展を遂げるであろう社会情勢を見据えつつ、すべての子どもが「いつでも、どこでも」読書を楽しめるような環境の実現に向けて継続的に取り組むため、第2次計画までの成果と課題をもとに、「第3次四條畷市子ども読書活動推進計画」（以下、「第3次計画」という。）を策定することといたしました。

策定にあたり、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

四條畷市教育委員会

も く じ

はじめに

第1章 第3次四條畷市子ども読書活動推進計画の策定にあたって 1

- 1 国の計画策定経過と動向 1
- 2 大阪府の子ども読書活動推進計画の取組状況 1
- 3 基礎自治体としての本市第3次計画の役割 3

第2章 これまでの経過 4

- 1 第2次計画の取組 4
- 2 これまでの主な成果 7
- 3 これまでの主な課題 9
- 4 第3次計画における取組施策の設定に向けて 12

第3章 第3次計画の基本的な考え方 13

- 1 計画の趣旨 13
- 2 計画の位置づけ 13
- 3 計画推進の基本方針 14
- 4 計画の対象 14
- 5 計画の期間 14

第4章 第3次計画推進のための施策 16

- 1 第3次計画における重点施策(主要プロジェクト) 16
- 2 保育所、こども園における読書活動の推進 18
- 3 学校における読書活動の推進 19
- 4 家庭、地域における読書活動の推進 21
- 5 市立図書館における読書活動の推進 23
- 6 効果的な推進のための取組 25

《参考資料》

- 1 用語解説 1
- 2 子ども読書活動に関するアンケート調査結果 4

第1章 第3次四條畷市子ども読書活動推進計画の策定にあたって

1 国の計画策定経過と動向

平成13年12月公布の「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受け、国は、14年8月「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第一次）を策定されました。

その後、別表1のとおり、概ね5年ごと課題を踏まえながら計画の見直しを行い、平成30年を初年度とした第四次計画においては、乳幼児期から高校生までの子どもの発達を四段階に分けることにより、効果的な施策を推進し、友人同士で本を薦め合う新たな取組を交えるなど、読書への関心を高めるべく具体的な内容を取りまとめています。

このような状況を背景に、学校教育分野では26年7月に学校図書館法の改正を受け、27年6月に学校図書館の整備充実に関する調査研究会議を設置し、約1年にわたる調査研究の後、28年11月に文部科学省から各都道府県等へ報告書（「学校図書館の整備充実について」）を通知されました。

29年度からスタートした新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」においては、図書整備、新聞配置、学校司書配置の各予算ともに大幅な増額がなされており、これらの動きを踏まえると、学校図書館の機能強化を喫緊の課題に位置づけていることがうかがえます。

また、29年3月に「学習指導要領」が改訂され、小学校では32年度、中学校では33年度から本格実施となります。

この改訂では、知識の理解の質を高め、資質、能力を育む「主体的、対話的で深い学び」を重要としており、読書推進に対する学校の役割は今後益々大きくなると考えられます。

2 大阪府の子ども読書活動推進計画の取組状況

大阪府は、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第一次）を基本とし、平成15年1月「子ども読書活動推進計画—大阪府子ども読書ルネッサンス」（第1次）を策定されました。

その後、別表1のとおり国の動向に即して、課題を踏まえながら改編を行った28年3月策定の第3次計画では、大阪府全体で、発達段階や生活の場に応じて本と親しむことにより、すべての子どもが読書の楽しさと大切さを知り、自主的に読書活動を行える環境整備に取り組むことを基本方針に定めています。

(別表1) 国と大阪府の子どもの読書活動に係る計画策定の経過 (概要)

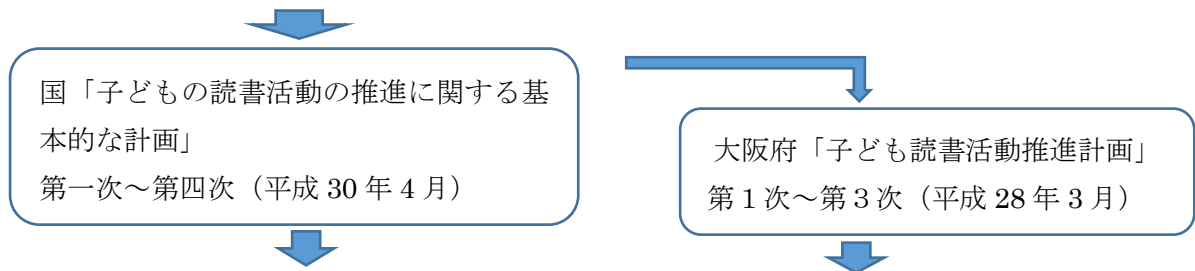
国「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」	大阪府「子ども読書活動推進計画」
<p>第一次 (平成 14 年 8 月)</p> <p>子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう環境の整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭地域学校を通じた読書機会の提供 (朝読など) ・諸条件の整備、充実 (学校図書整備 5 か年計画など) ・関係機関団体が連携した取組推進 (図書館中心に) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生になるにつれ高まる不読率 ・地域間の取組格差が大きい ・学校図書館資料の整備が不十分 	<p>第 1 次 (平成 15 年 1 月)</p> <p>府内すべての子どもたちが本を読む喜びを味わい、豊かな感性を持つことができるような環境をつくるため三つの魅力づくりに取り組む (読書、図書館・学校図書館、連携が生み出す力)</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での読書の場づくりが不十分 ・学校図書館の整備、機能向上が不十分
<p>第二次 (平成 20 年 3 月)</p> <p>主要施策の数値目標化、家庭地域学校の取組に再構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域格差の改善 (公立図書館未設置解消など) ・学校図書館図書標準の達成促進 (5 年 1,000 億円) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不読率が解消しない ・地域格差が解消しない ・学校図書館資料の整備が不十分 	<p>第 2 次 (平成 23 年 3 月)</p> <p>図書館、学校、ボランティアが連携強化を図り、「本がある、人がいる」ことを柱とした読書環境づくりを社会全体で進め、子どもの自主的な読書を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司書、学校司書との合同研修の実施 ・学校による公立図書館活用の促進と、公立図書館からの学校支援の促進 ・保健センター、公民館等、公的施設における読書環境づくりの推進
<p>第三次 (平成 25 年 5 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読書習慣づけ (ブックスタートなど) ・図書館の機能強化 (未設置解消、子ども用スペース整備、情報化推進、司書の適切な配置など) ・学校の機能強化 (読書指導充実、図書整備 5 年 1,000 億円、学校司書配置単年 150 億円など) <p>【課題・情勢変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の不読率が解消しない ・各世代目標進捗で改善が見られない ・情報化の進展 ・学習指導要領改訂 ・学校図書館法改正など 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生になるにつれ高まる不読率 ・家庭での読み聞かせの普及 <p>第 3 次 (平成 28 年 3 月)</p> <p>発達に応じて本と親しみ、読書の楽しさと大切さを知り自主的に読書を行うようになる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本との出会いづくり (本紹介の普及など) ・読書の習慣化 (図書館から学校への貸出推進など) ・読む力、考える力の育成 (学校図書館活用の推進、調べ学習での図書館資料の活用促進など) ・人と体制づくり (読書の重要性の普及、司書やボランティアの研修支援など)
<p>第四次 (平成 30 年 4 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階ごとに取組を推進 (乳幼児～高校生) ・本の勧め合い (読書会、ビブリオバトルなど) ・情報環境と読書環境の関係の実態把握、分析など 	

3 基礎自治体としての本市第3次計画の役割

本市における第3次計画は、国や大阪府の動向や取組状況はもとより、本市のこれまでの成果と課題の検証結果を踏まえつつ、学校図書館の機能強化に向けた動向をもとらえたものとして策定します。

(別表2) 本市の子ども読書活動推進計画策定の経過

子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年12月)



四條畷市子ども読書活動推進計画

第1次(平成19年3月)

(目的) 子ども読書活動の推進に取り組むすべての大人たちが連携して、家庭や地域、学校等様々な場で、すべての子どもが本を読む喜びを味わい、感性豊かに育つように、読書環境の整備や施策の推進に努める。

(基本方針)

- ①子どもが読書に親しむ機会の提供 (自主的な読書につながる読書機会の拡大)
- ②読書環境の整備、充実 (いつでもどこでも読書ができる環境に)
- ③家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組の推進 (連携、協力)
- ④子どもの読書情報の提供と啓発 (保護者等の理解を深める情報提供と事業)

(取組)

- 家庭地域：地域施設での読書機会の充実、ブックスタートなど
- 図書館：蔵書の充実、読書推進行事の充実、ボランティアとの連携、PRなど
- 学校等：保護者へ読み聞かせ等の啓発、蔵書の充実、図書室開室、指導の充実など
- その他：イベント等による普及啓発など

第2次(平成26年3月)

(目的)、(基本方針) 第1次と同じ

(取組)

- ★主要プロジェクト：学校図書館活性化(蔵書の充実、コンピュータ化、人的整備)
- 家庭地域：ふれあい教室等の本の充実、ブックスタート、家読の啓発など
 - 図書館：蔵書の充実、読書推進行事の強化、ボランティアとの連携、PRなど
 - 学校等：保護者への啓発、蔵書の充実、感想文等読書指導の充実など
 - その他：イベント等による普及啓発など

【課題】

- ・小学生の不読率の高さ
- ・学校図書館の蔵書が少ないなど

第2章 これまでの経過

今後の本市における子どもの読書活動の推進の方向性を明らかにするため、第2次計画の取組状況とこれまでの成果及び課題を確認します。

その確認にあたっては、子どもたちの読書活動の現状を把握するため、乳幼児の保護者と小中学生対象のアンケート結果や各種図書館利用に関する統計等を参考にしました。

1 第2次計画の取組

「家庭、地域」、「図書館」、「学校等」の各所において、読書環境の整備や行事開催、普及啓発活動等、第2次計画に定める各種施策の推進に取り組みました。

(1) 家庭、地域における取組

- 本の楽しさや読み聞かせの重要性を伝える機会の増加に向けて、保健センターや子育て総合支援センター、放課後子ども教室、ふれあい教室など、市内各所で本に触れ合う環境を整備しました。
- 赤ちゃんの4か月健診時に本をプレゼントして、親と子どもが本を通して楽しいひと時を分かち合う機会を提供するブックスタートは、市内すべての赤ちゃんを対象に定着しています。
- 子ども読書週間に合わせて実施するスタンプラリーは毎年多くの参加者があり（平成29年実施時：のべ993人）、子どもと本とを結びつける貴重な取組となっています。
- 地域で読み聞かせ活動を行うボランティア団体や地域文庫へ団体貸出等のバックアップを行い、公民連携による、きめ細かな読書環境づくりに努めました。

<施策内容>

家庭での読書	家庭での読書の啓発、家庭に向けた情報提供、「家読（うちどく）」の啓発
地域における読書	ボランティア団体との連携協力、子ども文庫活動への支援、絵本育児書の貸出、子ども読書週間スタンプラリーの実施及び図書室の開放、紙芝居の読み聞かせ、本の充実、ブックスタート事業、図書館への訪問や絵本コーナーの設置、外国にルーツを持つ子どもへの読書支援

(2) 図書館の取組

- 新刊書の購入を中心に蔵書の充実を図り、年齢に応じた資料提供に努めるとともに、

館内テーマ展示や図書館だよりを活用した本の紹介等を通して、読書への興味喚起に取り組んでいます。

- ボランティア団体と協力のもと、おはなし会等の各種行事を開催しました。
- 0、1歳児対象の「絵本であそぼ!」、2歳以上対象の「絵本のひろば」等、乳幼児向けの行事も実施し、年齢に合わせた読書推進を進めています。
- 多様な利用に対応できるよう、点字絵本や触る絵本、外国語で書かれた絵本等、各種資料を収集しています。
- 子どもの読書活動推進拠点として、市内各施設と連携のもと、行事開催や本と触れ合う機会の創出に努めました。

<施策内容>

図書館における子どもの読書活動の推進のための取組	児童書の充実、貸出サービス、館内サービスの充実、おはなし会の実施、図書館利用の促進、乳幼児とその保護者に対するサービス、障がいのある子どもへのサービス、外国人の子どもへのサービス、Y A [※] へのサービスの展開、ボランティアへの参加の促進、図書館司書の研修の充実
地域の読書活動を支えるキーステーションとしての取組	PR・広報、えほんライブの実施、おはなしれっしやの実施、リサイクル図書の活用、学校図書館整備への支援、学校図書館とのネットワーク化、学校図書館協議会への参加、学校、学校図書館への団体貸出等、図書館見学、職場体験、体験実習等の受入

(3) 学校等における読書活動の推進

- 保育所やこども園において、絵本コーナー整備のもと、本と触れ合えるよう努めるとともに、読み聞かせなどを行うことにより、本への興味喚起を図りました。
また、本の取扱の指導や保護者への情報提供等を通じ、保護者と一体となって読書環境の向上を進めています。
- 小学校において、学級文庫や学年文庫を設置し、子どもたちに本が身近なものになるよう努めました。
図書室を利用する図書の時間や「朝読」を活用して読書の習慣づけに取り組みました。
- 本に親しむ機会の増加を趣旨に、読書感想文の取組や読書ノート（またはカード）の活用、ボランティア団体との連携による読み聞かせなどを行いました。

<施策内容>

保育所、幼稚園の課題と取組	読書環境の整備、読書に親しむ機会の提供、本を大切にすることへの指導、子どもの豊かな心を育む絵本の提供、障がいのある子どもへの取組、保護者、地域への情報提供と啓発、出前講座、保育士、幼稚園教諭の意識と技術の向上
---------------	--

学校における子どもの読書活動の推進のための取組	児童生徒の読書習慣の確立、読書指導の充実、障がいのある子どもの読書活動や家庭、地域との連携による読書活動の推進
子どもの読書活動の推進のための学校図書館等の機能充実	学校図書館の資料、施設、設備等の整備と充実、学校図書館の活用を推進していくための人的配置の推進

(4) 普及啓発活動及び効果的な推進のための取組

- 図書館ホームページにおいて、幅広い普及啓発を図るため、学校支援等の子ども読書活動関連ページを作成しました。
- 関係各課や施設及びボランティア団体との連携、協力を図り、施策推進体制の強化を進めています。
- 取組推進に必要な財政上の措置を講じることにより、効果的な施策推進に努めています。

<施策内容>

普及啓発活動	子ども読書の日を中心とした啓発広報の推進、地元絵本作家との連携、各種情報の収集、提供
効果的な推進のための取組	地域における子ども読書活動推進体制の整備、財政上の措置

(5) 主要なプロジェクト

①学校図書館図書標準の達成

ふるさと納税をはじめ、各種予算を学校図書館の図書購入費に充当する他、児童生徒の保護者に図書寄贈を呼びかける等、図書の蔵書充実に努めています。

②学校図書館のコンピュータ化

学校独自の取組、または市立図書館との連携により、各小中学校において学校図書館のコンピュータ化を図り、市内全小中学校のコンピュータ化が完了しました。

③学校図書館活性化のための連携、協力

学校と市立図書館連携のもと、市立図書館から非常勤職員を派遣する学校図書館支援事業を進めています。

平成27年度より段階的に拡充に努め、30年度では、7校(6小学校、1中学校)の支援を実施し、図書の時間のサポートや休み時間の開室他、蔵書管理や館内整備、行事開催、PR活動など、学校図書館の活性化にあたっています。

2 これまでの主な成果

(1) 保護者による子どもへの読み聞かせの普及

第3次計画の策定にあたり、子どもの読書活動の現状を把握するため、平成30年5月下旬から6月中旬にかけて、保育所やこども園に通う子どもの保護者及び小中学生を対象にアンケート調査（以下、「第3次アンケート」と言う。）を行いました。

保護者への「お子さんと一緒に本を見たり読んだりする機会がありますか」との質問では、93%の保護者が「子どもと一緒に本を読んでいる」という回答が得られ、特に、「ほぼ毎日」、「週1～2回」という高い頻度で一緒に読んでいると回答した保護者が81%と、第1次計画策定時のアンケート（以下、「第1次アンケート」と言う。）より19%も増加しています。

また、「アンケート回答者自身は、普段1か月あたりどのくらい本を読みますか」との質問を行い、「保護者の読書量」と「子どもと一緒に本を読む頻度」との相関関係を調べてみました。

結果、ほとんど本を読まない保護者よりも本をよく読む保護者の方が、子どもと一緒に本を読む頻度が高くなっていますが、ほとんど本を読まない保護者も週に1～2回以上の頻度の割合が77%と非常に高い数値を示しており、保護者の間に子どもと本を読むことが進展しつつあります。

◇「ご家族のどなたかがお子さんと一緒に本を見たり読んだりする機会がありますか」

	①ほぼ毎日	②週1～2回	③月1～2回	④ほとんど無し	合計
回答数	42人	43人	13人	8人	106人
割合	40%	41%	12%	8%	100%

※ %の小数点以下は四捨五入

小中学生に行った「小さいころお家の人に本を読んでもらっていましたか」との質問では、「よく読んでもらっていた」、「ときどき」を合わせた回答の割合が小学生65%、中学生70%となり、多くの児童生徒が小さいころに本を読んでもらっていたことがうかがえます。

また、「読書が好きですか」との質問を行い、「小さいころに本を読んでもらっていた」と「読書好き」との相関関係を調べたところ、よく読んでもらっていた児童ほど、「読書が好き」と明確に答える割合が顕著に高いという結果となっています。

その他、第3次アンケートからは、読書の好き嫌いは、読書量に極めて密接に関係するという結果が得られており、これらを併せて考えると、子どもの読書活動の推進には小さいころに習慣的に本を読んでもらっていたか否かが非常に重要であり、保護者が子

どもと一緒に本を読む意義は極めて大きいと言えます。

(2) 子どもに読む本を図書館で調達する保護者の増加

第3次アンケートにおいて、「お子さんに読んであげる本はどこで調達されますか」との質問を保護者向けに行いました。

「図書館で調達する」という回答の割合が35%と、第1次アンケートより12%増加しており、「子どもと一緒に本を読む」だけでなく、乳幼児の保護者の図書館利用が増加していることがわかりました。

乳幼児の保護者は、子どもが小さいため一緒に来館しているケースが多く、子どもにとっては、小さいころから図書館になじむ機会となります。

子どもが読む本を図書館で調達する保護者の増加は極めて重要ととらえています。

(3) 0～6歳の図書館のべ利用人数の増加

近年、全国的に図書館利用は減少傾向にあり、本市も例外ではなく、全年齢の総利用人数は減少しています。

特に、年々進む少子化という社会状況を鑑みると子どもの利用は減少すると考えられますが、本市においては関係機関との連携による取組により0～6歳のべ利用人数が第1次計画策定時（平成19年度統計）より増加しています（29年度統計）。

◇0～6歳の延べ利用人数

	平成19年度	平成25年度	平成29年度
0～6歳	3,175人(3.7%)	2,883人(3.3%)	3,359人(4.0%)
全利用人数	86,030人	88,415人	83,467人

※（）カッコ内の%は全利用人数のうちに占める割合

(4) 全小中学校において学校図書館のコンピュータ化を達成

きめ細かな蔵書管理や各種統計を活用した読書指導が可能になる等、学校図書館の活性化にあたって、コンピュータ化は不可欠と言えます。

本市においては、第2次計画策定時（平成26年度）で学校図書館へのコンピュータの導入は小中学校全11校中4校との状況を受け、学校図書館のコンピュータ化を主要プロジェクトの一つに揚げ、積極的な導入に取り組みました。

その結果、29年3月末において、市内全小中学校の学校図書館にコンピュータ導入が完了しました。

(5) 学校図書館への支援員配置の推進

コンピュータの導入と併せて、学校図書館の活性化には人的配置が不可欠です。

平成25年度時点においては小中学校ともに学校図書館への人的配置が進んでいな

い実態を受け、第2次計画では、学校図書館の活性化のための連携協力を主要プロジェクトの一つに定め、学校と市立図書館連携のもと、市立図書館から学校図書館へ職員を派遣のうえ活性化にあたる学校図書館支援事業を始めました。

まず26年度は、田原小学校をモデルケースとして館内整備や図書の廃棄を支援する連携を進め、27年度からは、休み時間の開室や図書の時間のサポートにも対応すべく、1日あたり5時間図書室に常駐する学校図書館担当職員（支援員）を配置しました。

28年度からは、モデルケースの実績をもとに段階的に支援校を拡充し、現在は小学校6校、中学校1校、計7校の支援を行っています。

（6）小中学校の団体貸出数の増加

平成29年度統計における小中学校の団体貸出数が、第1次計画策定時と比べて大幅に増加しています。

学校による団体貸出の主な用途は、図書室よりさらに身近な学級文庫の充実、授業での活用や児童生徒のニーズ対応等であるため、学校への団体貸出数は学校における読書活動の活性化を示すものと言えます。

◇団体貸出数（平成29年度）

	平成19年度末	平成25年度末	平成29年度末
小中学校	3,431冊（34）	2,402冊（29）	7,085冊（58）

※（）カッコ内の数字は団体数

3 これまでの主な課題

（1）年齢が上がるにつれて「読書好き」が少なくなる

◇読書は好きですか

中学生		好き	どちらか というと 好き	ふつう	どちらか というと 嫌い	嫌い	合計
1学年	人数	41人	26人	26人	6人	8人	107人
	割合	38%	24%	24%	6%	7%	100%
3学年	人数	33人	17人	32人	10人	9人	102人
	割合	32%	17%	31%	10%	9%	100%

※3学年に1人、無回答の生徒あり

第3次アンケートにおいて小中学生に対し、「読書は好きですか」との質問を行いました。

「好き」、「どちらかというところ好き」と回答した割合が、小学生では3学年、5学年と

もに70%を超えるものの、中学生では1学年で62%、3学年は49%と年齢が上がるにつれ低い結果となりました。

また、「嫌い」、「どちらかという嫌い」の割合は、小学校では3学年が5%、5学年が8%と極めて低い状況ですが、中学生では1学年13%、3学年19%と年齢が上がるにつれ高い結果を示しています。

読書が好きなことは、読書活動の推進において重要な要素であり、年齢に応じた継続的な対策が急がれます。

(2) 年齢が上がるにつれて不読率が増加

第3次アンケートにおいて小中学生に対し、「普段1か月の間にどのくらい本を読みますか」との質問を行いました。

「ほとんど読まない」と回答した割合が、小学校では、3学年が3%、5学年が6%と低い数値を表す一方、中学校では、1学年が16%、3学年では32%と、中学生に進むと顕著に増加する結果となりました。

また、「学校の図書室へはどのくらい行きますか」、「市立図書館へはどのくらい行きますか」との両質問において、1学年、3学年ともに「ほとんど行かない」との回答の割合が選択肢の中で一番高く、中学生の読書離れを表す結果を示しています。

中学時代は、クラブ活動や受験勉強に時間が多く割かれ、読書時間の確保が困難な時期ではありますが、不読率の顕著な増加の懸念から、読書の動機づけとなる対策が求められます。

◇普段1か月の間にどのくらい本を読みますか

中学生		ほとんど読まない	1冊	2～5冊	6～9冊	10冊以上	合計
1学年	人数	17人	26人	45人	10人	9人	107人
	割合	16%	24%	42%	9%	8%	100%
3学年	人数	33人	35人	26人	3人	5人	102人
	割合	32%	34%	25%	3%	5%	100%

(3) 7～12歳の図書館のべ利用人数が減少

平成29年度統計における市立図書館の7～12歳のべ利用人数は、第1次計画策定時（19年度）と比べ大幅に減少しています。

この要因は、高学年の読書量の減少と考えられます。

第3次アンケートにおける小学生への「普段1か月の間にどのくらい本を読みますか」との質問において、3学年は第1次アンケートと比べ10冊以上読む児童が6%増えている一方で、5学年は第1次アンケートと比べ10冊以上読む児童が9%減少し、「ほ

とんど読まない」、「1冊」の合計が10%も増加しており、読書量が減少傾向にある結果となりました。

この結果から、先に中学生の不読率の増加が課題となりますが、小学高学年からその兆候が出ていると考えられます。

5学年は、「読書は好きですか」との質問において、「好き」、「どちらかというが好き」と回答した割合が70%を超え、「嫌い」、「どちらかという嫌い」の割合が8%と極めて低く、非常に良好な結果ですが、この時期からの不読対策が必要と考えられます。

◇7～12歳の図書館のべ利用人数

	平成19年度	平成25年度	平成29年度
7～12歳	10,785人(12.5%)	10,512人(11.9%)	8,490人(10.2%)
全利用人数	86,030人	88,415人	83,467人

※() カッコ内の%は全利用人数の内に占める割合

(4) 図書館を利用しない保護者が50%と高い数値

第1次アンケートと比べ、図書館利用が習慣化している利用者が増加している一方で、50%の保護者が「ほとんど利用しない」と回答しています。

また、子どもの本を主に図書館以外で調達する保護者のうち、約70%の保護者が図書館を「ほとんど利用しない」と回答しており、図書館利用の二極化が進んでいると言えます。

小さいころに保護者と一緒に図書館を利用するという経験は、子どもの将来の読書活動にとって大きな影響を及ぼすと考えられるので、子どもの本を図書館以外で調達する保護者へ図書館利用をPRしていくことが必要です。

また、図書館をよく利用している保護者は、子どもの本を図書館で調達するだけでなく、自身でも普段から本をよく読んでいる保護者が多いことから、保護者の図書館利用の促進には、保護者自身が本を読むようになることが重要な要素ととらえています。

主な成果において、子どもと一緒に本を読んでいる保護者が、第1次アンケートとの比較で増加しているものの、5歳児の保護者に限れば増加していませんでした。

これは、子どもがある程度の年齢になると、保護者は子どもと一緒に本を読まなくなる傾向があると考えられます。

たとえ子どもと一緒に読まなくなったとしても、保護者自身が普段から本を読む習慣があれば、その姿を子どもが見て育ちます。

保護者方々に、子どもの読書活動の重要性について理解を求めつつ、保護者自身に読書の重要性を認識いただくことが重要です。

4 第3次計画における取組施策の設定に向けて

以上、これまでの主な成果と課題を確認しました。

成果については、現状にとどまらず、本市全体にいきわたるように今後も継続的な取組が重要です。

また、課題については、年齢期ごとの差異から後の読書に対する認識に影響を及ぼすことがわかりました。

従って、第3次計画の取組施策の設定にあたっては、利用人数や貸出冊数等の統計数値に加え、アンケートから確認できた読書実態に沿う取組を重視し、子どもたちが何歳になっても変わらない読書習慣を形成すべく、今まで以上に、それぞれの年齢期に応じたきめ細かな施策、同年齢期における差を生じさせない施策を推進していくことが求められます。

第3章 第3次計画の基本的な考え方

1 計画の趣旨

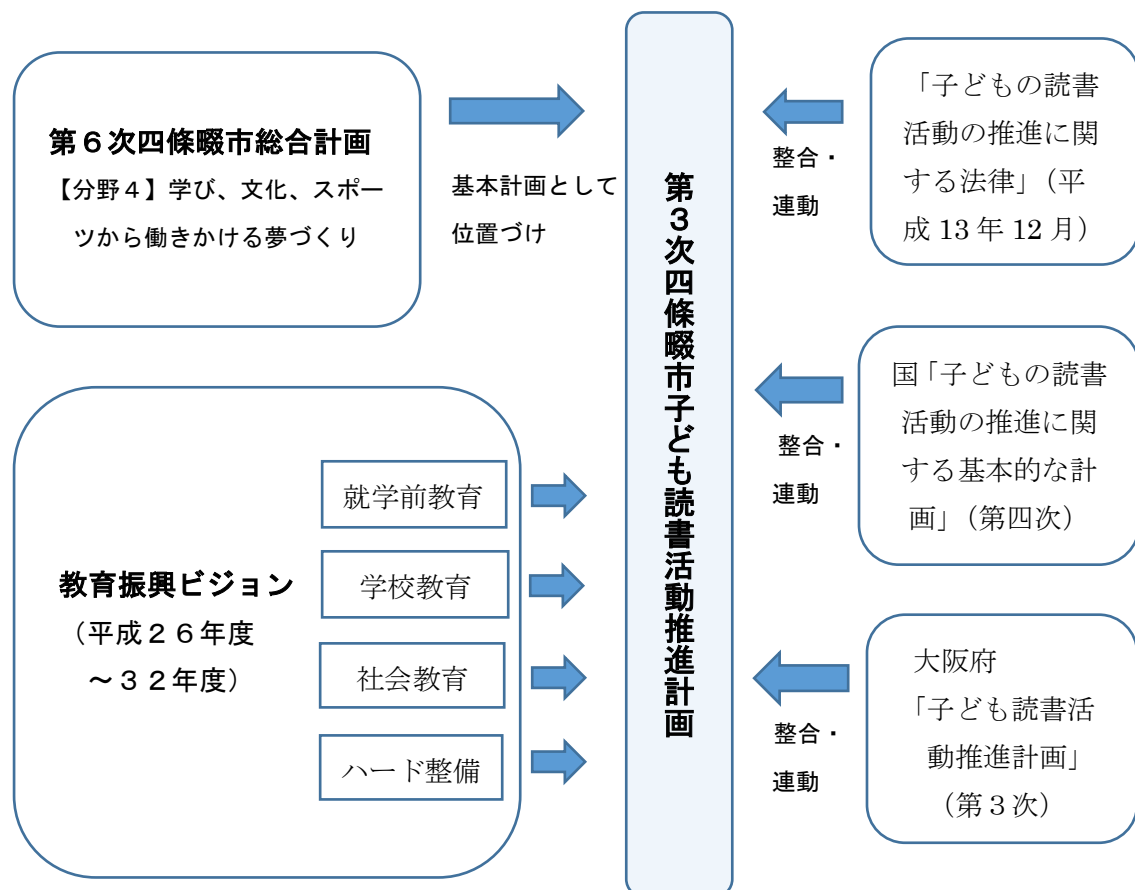
本計画は、子どもの読書活動の推進に取り組むすべての大人たちが連携して、家庭や地域、学校等、様々な主体が、すべての子どもが本を読む喜びを味わい、感性豊かに育つよう、読書環境の整備や施策の推進に努めることを趣旨とします。

2 計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月公布）第9条第2項の規定に基づき、国が策定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第四次）（30年4月）及び大阪府が策定した「子ども読書活動推進計画」（第3次）を基本に取りまとめます。

また、本市の「教育振興ビジョン」に準じ、「第6次総合計画」（【分野4】学び、文化、スポーツから働きかける夢づくり）の基本計画として位置づけ、子どもの読書活動の総合的推進のために方向性と施策を示すものです。

（計画の位置づけイメージ図）



3 計画推進の基本方針

本計画を推進するために次のとおり基本方針を定めます。

(1) 子どもが読書に親しむ機会の提供

家庭、地域、学校等で、子どもが読書の楽しさを知り、自ら進んで読書活動を広げられるよう、読書機会の拡大を図ります。

(2) 読書環境の整備、充実

子どもの身近に、読みたくなるような魅力的な本があり、いつでもどこでも読めるような読書環境の整備、充実に努めます。

(3) 家庭、地域、学校等を通じた社会全体での取組の推進

子どもの読書活動を支え、活性化していくために、家庭を核としながら、地域、学校、図書館が一体となり、子どもの読書活動を推進します。

とりわけ、「主体的、対話的で深い学び」の実現をめざす学校においては、読書推進の役割が今後益々大きくなることを鑑みた施策を展開します。

(4) 子ども読書情報の提供と啓発

保護者をはじめ、子どもに関わる大人が読書活動の意義や推進について関心と理解を深めてもらうため、情報提供に努めつつ、啓発事業を行います。

併せて、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため設けられた4月23日の「子ども読書の日」の効果的な啓発広報に取り組みます。

4 計画の対象

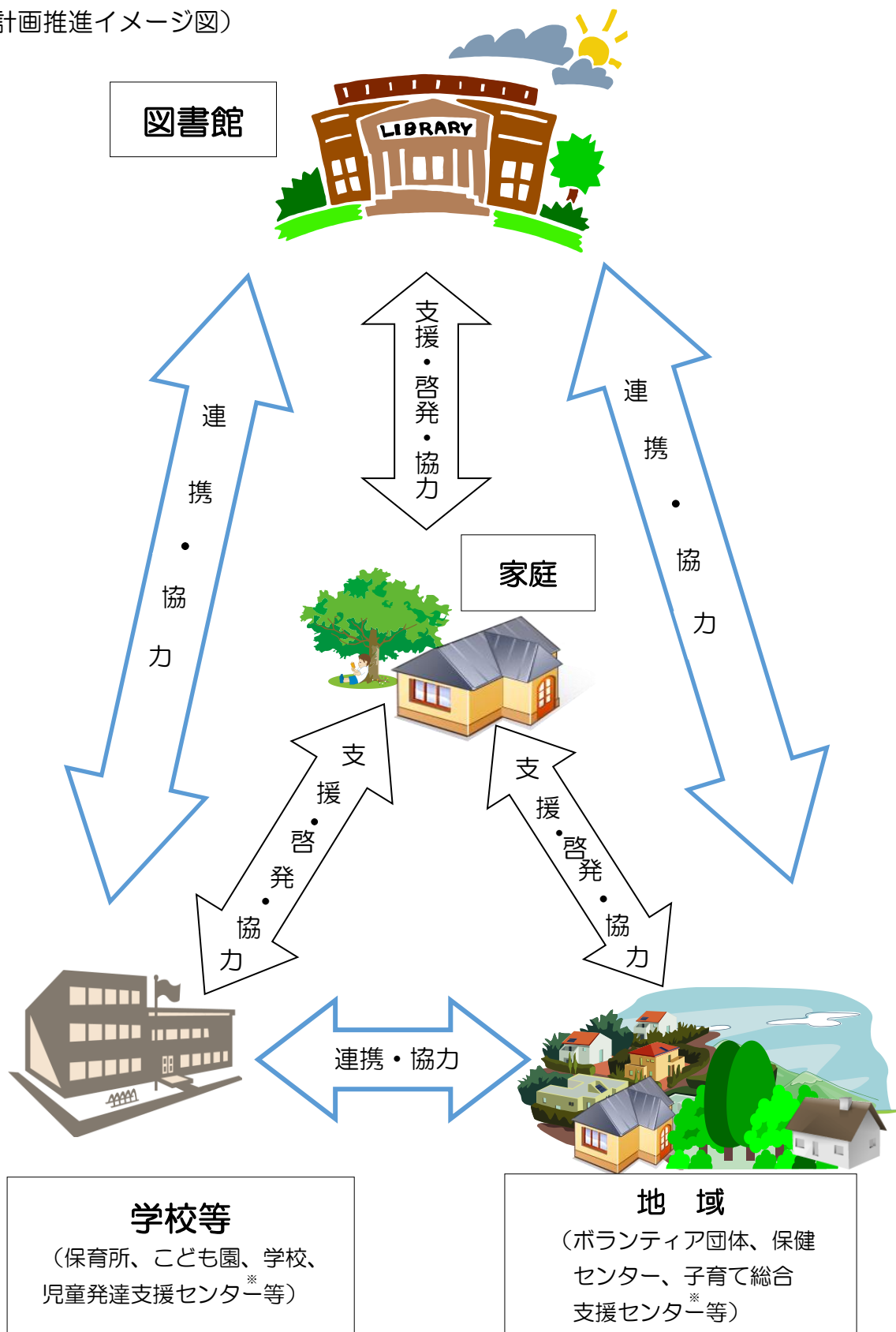
本計画の対象は、0歳からおおむね18歳までとします。

5 計画の期間

本計画の期間は、平成31年度から概ね5年間とします。

計画期間中は適宜の検証にあたり、必要に応じて計画内容の修正を行います。

(計画推進イメージ図)



第4章 第3次計画推進のための施策

第1章で国や大阪府、そして本市の子ども読書活動推進計画の策定経過、第2章では本市の第2次計画における取組状況とこれまでの成果と課題、そして第3章は本市第3次計画の基本的な考え方を整理しました。

これらを踏まえ、第3次計画において取り組むべき施策を次のとおり策定します。

なお、本計画の推進にあたっては、関係部署連携のもと、家庭、ボランティア方々とも協力して、全市一体となって取組を推進します。

1 第3次計画における重点施策（主要プロジェクト）

第2章で整理した「これまでの主な課題」を踏まえ、以下の2点は特に重点的に取り組むべき施策に位置づけます。

【重点施策1】学校図書館の活性化

学校図書館は、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であると学校図書館法第1条で謳われています。

学校図書館は、読書を通して児童生徒が自ら学ぶ力や豊かな心を育める場所とならなければなりません。

本市においても、子どもたちにとって最も身近な図書施設である学校図書館の整備充実が読書活動の推進にとって不可欠との考えから、第2次計画において学校図書館を活性化させるための施策を主要プロジェクトとして位置づけ、教育委員会各課連携のもと、学校図書館図書標準の達成やコンピュータ化、人的配置（支援員配置）等に取り組んできました。

なお、コンピュータ化については全校導入を達成したことから、その活用を図りつつ、学校図書館図書標準や支援員配置は全校達成に至っていないため、第3次計画においても、これらの達成に向けて引き続き取り組むべきであり、特に支援員配置は、児童生徒、教員から一定の評価が得られている他、来室人数の増加等の貴重な成果も見られることから、重点施策に位置づけ、さらなる学校図書館の活性化を進めます。

（主な施策内容）

施策・事業	取組内容	担当・所管
学校図書館への人的配置	・市立図書館から学校図書館へ派遣のうえ活性化にあたる職員（学校図書館支援員）の全校配置に向けた段階的な拡充を進める。	小中学校 学校教育課 図書館
学校図書館支援員 [※] の連絡会開催による図書室機能の充実	・図書室の取組の底上げを図るため、各学校における読書活動の情報共有等を支援員間で行う連絡会を開催する。	小中学校 図書館

施策・事業	取組内容	担当・所管
魅力的な蔵書の構築	・学校図書館図書標準の達成に向けて計画的な図書購入を行うことにより蔵書の充実を図る。	教育総務課 小中学校
	・傷んだ本や記載内容が古くなった本を除籍する等、定期的な蔵書の更新を行い、児童生徒にとって魅力的な書架づくりに努める。	小中学校 図書館
学校図書館の積極的活用	・子どもたちの図書室利用を習慣づけるため、自主的な図書室利用の啓発とともに、授業等で図書室を積極的に活用する。	小中学校
ボランティアとの連携、協力	・図書室の整備を趣旨に、ボランティアと連携、協力して実現可能な協働体制を構築する。	小中学校 図書館
連携体制の強化	・子どもたちの読書意欲の促進を図るため、子どもたちが求める図書を市立図書館から積極的に取り寄せる。 ・市立図書館からの図書の取寄せ等の連携事業を円滑に進めていくため、市立図書館と学校間の巡回便を定期的に運行する等、学校と市立図書館は連携体制を強化する。	小中学校 学校教育課 図書館

【重点施策2】中学生の読書離れ対策

第2章の「これまでの主な課題」で確認したように、年齢が上がるにつれて「読書好き」が減少し、不読率が増加する傾向にあります。

特に、中学生の不読率の増加は顕著であり、3学年では約3人に1人が不読の状態です。

中学生の頃は何事も吸収力が旺盛であり、この年齢期における読書は、子どもたちの心の成長にとって特別な意味を持ち、不読者が増加するという状況は看過できません。

第3次計画では中学生の読書離れへの対策が急務と考え、重点施策として位置づけます。

(主な施策内容)

施策・事業	取組内容	担当・所管
図書室における取組の強化	・中学校図書室にも支援員配置を推進し、休み時間や放課後における開室の他、本紹介や展示、市立図書館からの本の取寄せ等、図書室の活性化に向けた取組を行う。	中学校 図書館
図書室だよりの活用	・図書室だよりを発行し、おすすめ本や人気ランキング等、生徒たちが興味を引くような記事の掲載など、生徒の図書室利用の促進を図る。	中学校 図書館
Webサービスの活用	・インターネット予約等のWebサイトを利用した図書館利用をPRする等、スマートフォン世代に合わせた情報提供を行うことにより、市立図書館の積極的な利用につなげる。	図書館

施策・事業	取組内容	担当・所管
ビブリオバトルの 実施 [※]	・ビブリオバトル等、友人間で本に関する情報交換が促進される取組を通じ、読書への興味喚起に努める。	小中学校 学校教育課 図書館
ヤングアダルト向 け出版情報の提供 [※]	・書店等、民間の読書関連組織との連携により、ヤングアダルト（YA）向けの出版情報を提供する。	図書館

2 保育所、こども園における読書活動の推進

保育所やこども園は、多くの子どもにとって初めて集団生活を経験する場所です。

そのような家庭とは違う環境で体験する読み聞かせやおはなしは、子どもの言葉の世界を広げ、本への興味、関心の芽を育てます。

また、子どもが一日の中で多くの時間を過ごす保育所やこども園は、日常の保育や教育において読書活動を積極的に取り入れることは大きな意義があると考え、保育所、こども園での読書活動を推進します。

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
子どもの好奇心・探求心を育む取組	新規	・身近な動植物等について、調べたり発見したりといった、子どもの好奇心や探求心を充たす図鑑、絵本を設置のもと、子どもが自ら学ぶ機会を設ける。	保育所 こども園
保護者、地域への情報提供と啓発	拡充	・各クラスの部屋の前に子どもに読み聞かせをした絵本を置いて、読んだ本が保護者にわかるようにする。 ・地域への室内開放等で、参加者に読み聞かせの楽しさや大切さを伝える。 ・保護者に子育てに参考となる本の貸出を行う。	保育所 こども園
読書環境の整備	継続	・園全体で絵本を定期的にチェックする機会を園全体で持ち、季節やテーマに合わせた入替を行うなど、絵本コーナーの蔵書充実を図る。 ・絵本の表紙を見せる面展示を行うことにより、子どもに親しみやすい絵本コーナーを整備する。	保育所 こども園
読書に親しむ機会の提供	継続	・年齢、子どもの興味、季節にあった絵本を選んで、読み聞かせを実施する。 ・ボランティアに来てもらい、絵本やおはなし（素語り）を開催する。	保育所 こども園

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
本を大切にすることへの指導	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本を大切にすることを子どもに理解させ、その取扱を指導する。 ・絵本や物を大切にすることが描かれている絵本を読み聞かせて指導する。 	保育所 こども園
子どもの豊かな心を育む絵本の提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・4、5歳児にファンフレンズプログラム[※]を行い、子どもの豊かな心を育む絵本を読み聞かせる。 	保育所 こども園
障がいのある子どもへの取組	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個性に合わせた本選びをする。 ・子どもが興味を持っているような本を選び、みんな一緒に楽しむ。 	保育所 こども園
出前講座	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロンやサークルに出向いて、絵本の読み聞かせを実施する。 ・地域の行事にて絵本の内容を取り入れたエプロンシアター[※]やおはなしの劇を行う。 	保育所 こども園
保育士、幼稚園教諭の意識と技術の向上	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自主研修や会議等で絵本の大切さへの理解を深め、技術の向上に努める。 ・実技研修会を開催し、講師を招いて絵本の選び方、読み聞かせについて話を聞く。 	保育所 こども園

3 学校における読書活動の推進

小中学校は子どもたちが一日の中で多くの時間を過ごす場所であり、そこで行われる読書指導や活動は、子どもたちが本への興味を育み、読書の習慣を身につけていくうえで、計り知れない役割を担っています。

また、小中学校の多感な時期に多くの仲間と団体生活を経験するなかでの本との出会いは、子どもたちの心の成長に深い関わりを持つと言えます。

こうした学校での読書の重要性を踏まえながらの取組を進め、特に、読書離れの傾向を現す学年に対しては、純粋に読書の楽しさを伝えることに特化し、個々の読書段階に応じたアプローチや市立図書館や図書ボランティアとの連携のもと、地域が一体となって効果的な推進を図ります。

(1) 児童、生徒の読書習慣の定着のための取組

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
朝の読書 [※] （朝読）活動	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各校、曜日を決めて朝の学習時間に全校で読書タイムに取り組む。（小学校） ・10～15分間、朝の読書[※]（朝読）活動を実施する。（中学校） 	小中学校

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
学校図書館の活用	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回、図書[※]の時間の確保に努め、子どもたちの図書室利用の促進と読書習慣の定着を図る。 ・子どもたちの自主的な読書時間の確保を趣旨に、休み時間に図書室を開放する。 ・子どもたちの図書室への来室を促進すべく、読み聞かせの実施等、図書委員会が図書室での活動機会を設ける。 	小学校
校内における文庫の設置	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫や学年文庫等、子どもの身近な場所に図書を設置し、子どもたちがいつでも読書できるように努める。 ・図書館が譲渡するリサイクル本や保護者からの寄贈本の活用により、学級文庫や学年文庫の充実を図る。 	小学校
市立図書館の活用	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館の団体貸出サービスにより、学級文庫や学年文庫、調べ学習を充実する。 	小学校
障がいのある児童への取組	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間を活用して、図鑑や絵本に親しんだり、児童の読み聞かせを聞いたりする時間を持つ。 	小学校

(2) 読書指導の充実のための取組

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
「主体的、対話的で深い学び」につながる取組	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の時間等を活用し、自身が読んで面白かった本を児童同士で勧め合う機会を設ける。 	小学校
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書室での掲示や展示、図書室だより等を通じ、新着本や児童生徒おすすめの本の紹介に取り組む。 	小中学校
読書関連コンクールへの参加	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・読書への関心を高めるため、読書感想文や感想画、本の帯づくり等、読書関連コンクールへの参加を促す。 	小学校
読書指導	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本に親しむことを趣旨に、概ね週1時間の読書指導を行う。 	小学校
読書ノートを活用	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の読書意欲の向上をめざし、大阪読書推進会が主催する「読書ノート」活動への参加、学校独自の読書ノートやカードの活用に努める。 	小学校

(3) 推進体制の強化のための取組

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
ボランティアとの連携、協力(1)	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備、活性化を趣旨に、ボランティアの受入とその育成を推進する。 	小中学校 図書館

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
ボランティアとの連携、協力（２）	継続	・ボランティアの受入に努め、児童が本の読み聞かせやおはなしを聞く機会を設ける。	小学校
学校図書館協議会の活動	拡充	・学校図書館の運営について、各校間で情報交換に取り組む。 ・読書感想文等を選定して、大阪府青少年読書感想文コンクールに出品する。 ・各担当教員が中心となって、自校での読書活動推進の機運を高める。 ・読書活動等について、図書館と情報交換を行う。	小中学校
保護者と学校との情報の共有化	継続	・図書室だより等を通じ、図書室に新しく入った本の紹介等、図書室の運営、活動の情報提供を家庭向けに行う。 ・生徒を介して家族も図書室の本を利用できるようにする。	中学校

（４）学校図書館の機能充実のための取組

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
蔵書の充実	拡充	・学校図書館図書標準の達成に向けて、ふるさと納税等を使用した予算要求に努め、各学校の蔵書冊数を充実させる。 ・調べ学習等の多様な利用方法への対応をねらいとして、幅広い蔵書の構築とともに、雑誌等定期刊行物の購入を検討する。	教育総務課 小中学校
新聞の配備	拡充	・児童、生徒が新聞を利用する機会確保のため、各学校への新聞の配備と利用促進に努める。	教育総務課 小中学校
学校図書館の開放	継続	・昼休み等を利用して、学校図書館を開放する。 ・図書室の本の貸出を行い、図書室利用の促進を図る。	小中学校
学校図書館の施設、設備の充実	継続	・校舎の大規模改造工事に合わせて、老朽化している学校図書館を改修する。 ・本棚、机、イス等の備品について、老朽化しているものは買替等に努める。	教育総務課
学校図書館整備のための連携、協力	継続	・各学校の司書教諭または図書室担当教員が中心となり、図書館と連携、協力して学校図書館の整備等を行う。	小中学校 図書館

4 家庭、地域における読書活動の推進

「家庭教育はすべての教育の出発点」と言われます。

子どもと本の出会いの出発点も家庭であり、家庭での読書推進の取組では、子どもの成長過程における本との出会いの大切さを保護者にしっかりと伝えることが重要となります。

そのために、乳幼児期から保護者と一緒に本に触れる環境や機会を身近に整え、家庭で本を楽しむ習慣へとつなげていけるような取組を中心に推進します。

(1) 家庭における読書推進

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
家庭に向けた読書の啓発	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会[※]、または講座等開催時において、読み聞かせや読書の重要性について保護者向けに啓発や相談を行う。 ・図書館で開催する行事の周知、PRに努め、読書関連行事への参加を促進する。 	公民館 図書館
「家読」 ^{うちどく[※]} の啓発	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・家族みんなで読書を通じた家族のコミュニケーションを深めていく「家読」^{うちどく}について、児童、生徒の保護者に向けて啓発を図る。 	小中学校

(2) 地域における読書推進

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
絵本の読み聞かせの実施	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室で絵本の読み聞かせを実施し、読書への興味を喚起する。 	青少年育成課
本と触れ合う場の提供	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室内に絵本コーナーを設置し、本と触れ合う環境を設ける。 ・教育文化センターにおいて、子どもの本を設けた図書室を開放し、本に親しむ環境づくりを行う。 ・ふれあい教室に本を設置し、本と触れ合う場を提供する。 ・上記の施設にとどまらず、本の設置が可能な場所の確保と周知、啓発に努める。 	保育所 こども園 子育て総合支援センター 児童発達支援センター 青少年育成課 図書館
ブックスタート [※] の実施	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館と連携、協力して、4か月児健診時にすべての赤ちゃんに絵本を贈呈して、読み聞かせの楽しさや大切さを保護者に伝える。 	保健センター 図書館
絵本、育児書の貸出	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や育児書、おもちゃの貸出を実施し、地域において本と触れ合う場の環境整備に努める。 (子育てぽけっと) ・利用者が、年齢や興味に合わせて本を選択できるような蔵書充実を行う。 ・保護者に図書館やおはなし広場などの情報提供を通じ、読書についての興味喚起を図る。 	保育所 こども園 子育て総合支援センター

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
ボランティア団体の活動に対する支援	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動に関連するボランティア団体や子ども文庫等[※]に対して、団体貸出[※]や情報の提供等を行うなど、自主的活動を支援する。 ・読書活動に関するボランティア団体との連携、協力により、活動の機会をつくり、場の提供を進める。 	図書館
子どもの読書週間における読書啓発	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体、関係各課、施設が連携、協力のもと、「子ども読書の日[※]」を始まりとした、春のこども読書週間に合わせて、子ども読書週間スタンプラリーに取り組み、子どもたちが身近な場所で本と出会える場を創出する。 	子育て総合支援センター 公民館 青少年育成課 生涯学習推進課 図書館
外国にルーツを持つ子どもへの読書支援	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「四條畷市にほんご教室」において、乳幼児や児童に合った絵本を選び、随時読み聞かせを行う。 	公民館

5 市立図書館における読書活動の推進

市内で最も大きな図書施設である市立図書館は、乳幼児から中高生まで全世代の読書活動を支えていく場所として、本計画推進の中心的な役割を果たさなければなりません。

この認識に基づき、市立図書館を子ども読書活動の推進拠点に位置づけ、貸出サービスや行事開催の他、家庭、地域、学校等、各所での取組に対し、図書館が連携、協力を図りながら、より効果的な推進を行います。

(1) 図書館における取組

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
図書館情報システムの活用	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・読書意欲の向上を趣旨に、自身が借りた本の記録を残す図書貸出情報記録システムを活用する。 	図書館
ヤングアダルトへのサービス	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングアダルト対象の図書を充実しつつ、図書館だよりを用いた本の紹介等、中高生の読書推進に働きかける。 	図書館
館内サービスの充実	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ展示等、館内において、おすすめの児童書を展示し、子どもの本選びを応援する。 ・子どもや保護者が求めている本と出会えるよう、積極的にフロアワーク[※]に取り組む。 	図書館

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
児童書の充実と提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊書購入の他、長い間読み継がれてきた図書や傷んだ図書の買替等、計画的な収集を行い、子どもたちの多様なニーズに沿う新鮮で魅力的な蔵書を構築する。 ・保育所、こども園、学校等へ団体貸出を行い、市内各所の読書推進の促進を図る。 	図書館
おはなし会 [※] の実施	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本やおはなし[※]（素語り）の楽しさを伝えたく、おはなし会を実施する。 ・おはなし会の充実に向けて、ボランティア団体と連携、協力する。 	図書館
図書館行事の開催	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと図書館との結びつきに留意し、人形劇や工作教室、かるた会、小学生の図書館体験等の行事を開催する。 	図書館
乳幼児と保護者に対するサービス	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートのフォロー事業として、0、1歳対象の「絵本であそぼ！」と2歳以上対象の「絵本のひろば」の実施により、乳幼児と保護者に読書の楽しさや乳幼児期から本に親しむことの大切さを伝える。 	図書館
障がいのある子どもへのサービス	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・点字つき絵本、触る絵本やデージー図書[※]の収集、提供に努める。 ・児童発達支援センターに出向き、子どもが慣れた環境のなかで、絵本の読み聞かせを行う。 	図書館
外国にルーツを持つ子どもへのサービス	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語以外の外国語で書かれた絵本や読物を収集し、外国語図書コーナーを充実する。 ・外国語で作成した利用案内を配り、日本語に馴染みのない子どもの利用を促進する。 	図書館
図書館見学、職場体験、体験実習等の受入	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館見学を受け入れ、児童、生徒、教員に対して図書館の役割や利用方法等を説明する。 ・中学校の職場体験学習や支援学校の体験実習を受け入れる。 	図書館
ボランティア活動への参加促進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体と連携、協力のもと、読書活動の取組を推進するとともに、団体の活動や行事のPRを行い、ボランティアへの市民参加を促す。 	図書館
図書館司書の研修の充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書についての研修へ積極的に参加し、図書館司書の知識と技術の向上に努める。 	図書館

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
読書活動に関する情報提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だよりや市の広報やホームページにおいて、行事案内や新刊書の紹介等を行い、子どもの図書館利用促進や読書への興味喚起を図る。 ・お勧め本を紹介したブックリスト[*]等を作成し、館内設置の他、関係機関への配布など、本選びのきっかけ作りに努める。 ・図書館ホームページを活用して、子どもの読書活動に関する情報を提供する。 	図書館

(2) 他の機関と連携した取組

施策・事業	実施区分	取組内容	担当・所管
関係機関等との連携、協力による行事開催	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児が本と親しむ機会創出のため、乳幼児から大人まで一緒に絵本を楽しめる音楽を交えた本の行事を開く。 	公民館 図書館
		<ul style="list-style-type: none"> ・市立保育所やこども園、児童発達支援センター、ボランティア団体との連携、協力のもと、絵本の読み聞かせやおはなし（素語り）を実施する（おはなしれっしゃ）。 	保育所 こども園 児童発達支援センター 図書館
学校への支援	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備にあたり、必要な情報提供とともに、相談、アドバイスに努める。 ・団体貸出[*]やリサイクル図書の譲渡等により、学校の読書活動を支援する。 	図書館
学校図書館協議会への参加	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書が学校図書館協議会に参加し、図書館の利用方法、図書や子どもの読書等の情報提供を行うなど、学校との連携を深める。 	図書館
図書のリサイクル	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各所の読書推進活動を促すため、除籍図書等、図書館で役割を終えた図書や市民からの寄贈本を関係機関等に譲渡する。 	関係各課 図書館

6 効果的な推進のための取組

(1) 読書活動推進体制の整備

関係課、施設及びボランティア団体との連携、協力を深めて、読書活動の推進体制の整備を図ります。

(2) 子どもの読書に関する資料、情報の提供

図書館ホームページや図書館だより等の活用により、子どもの読書に関する資料や情報を積極的に提供します。

(3) 計画の進捗管理

本計画に基づく諸施策の効果的な推進に向けて、図書館協議会において進捗管理を行います。

(4) 財政上の措置

本計画に基づく取組の実施をめざし、市単独の対応だけでなく、国や大阪府に対して、必要な財政上の措置を講じるよう働きかけます。

(5) 地元絵本作家との連携

地元絵本作家と連携のもと、子どもたちが絵本の楽しさを知り、より絵本に親しむ機会の創出に努めます。

(6) P T会議（学力向上対策プロジェクトチーム会議）との連動

読書は基礎学力の醸成につながることから、学力向上の施策と連動した取組を通じ、学校及び市立図書館における、より効果的な読書活動の推進を図ります。

参 考 资 料

用語解説

(本文中、※が付いている用語の説明。五十音順)

朝の読書(朝読)

読書を習慣づけるために、始業時間前に読書の時間を設ける取組。「みんなでやる、毎日やる、好きな本でよい、ただ読むだけ」の4原則の下で行われている。

家読(うちどく)

「家読」は「家庭読書」の略。家読は「朝の読書」(朝読)の家庭版で、朝読が学校で行われるのに対し、家読は家庭で家族と一緒に読書し、感想を話し合うことにより家族のコミュニケーションが深まるとされている。

エプロンシアター

胸当て式のエプロンを舞台に見立て、演者がエプロンのポケットから人形を取り出してエプロン上で行う人形劇。マジックテープを利用して、人形をエプロンに貼りつけながら演じる。

おはなし(素語り)

本を読むのではなく、語りてが物語を覚えて、聞きてに向かって語りかけるもの。(ストーリーテリングともいう。)

おはなし会

複数の子どもたちに、おはなしを語ったり、本や紙芝居を読んで聞かせること。おはなし会の内容は対象の年齢や人数、場所によって異なり、パネルシアターやてあそび等を取り入れてプログラムを組むこともある。

小学校や図書館、子ども文庫等で定期的に行われている。

学校図書館支援員

市立図書館から学校の図書室へ出向いて、図書の時間のサポートや休み時間の開室等、図書室の管理、運営の支援を行う職員。

学校図書館図書標準

文部省(当時)が平成5年(1993年)に設定したもので、学校の規模に応じ、学校図書館に整備すべき蔵書の標準が示されており、四條畷市の平均クラス数に照らし合わせると以下の通りとなる。

- ・小学校 平均13～18クラスの場合 7,960冊+400冊×(学級数-12)
- ・中学校 平均13～18クラスの場合 10,720冊+480冊×(学級数-12)

子育て総合支援センター

0歳から18歳未満の子育てについての総合相談窓口となるべく、平成18年(1999年)4月に子育て支援センターとしてオープンし、児童家庭相談、虐待相談や在宅の子育て支援を行っている。

18年(2006年)4月から、総合的な子育て支援の拠点施設をめざし、四條畷市立子育て総合支援センターとなる。

子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律 第十条」により、4月23日と定められている。

国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられた。

子ども文庫

地域において親、特に母親たちが中心になって、本を備え付けて近隣の子どもたちに、本の貸出やおはなし会、てづくり遊び等を行う組織及びその活動。個人が家庭を開放のうえ運営している家庭文庫と地域の集会所等を利用のもと活動している地域文庫がある。

平成30年(2018年)3月現在、市内で活動している子ども文庫は1団体である。

児童発達支援センター

子どもの発達について、気になることや心配ごとなどがなどを相談できる窓口。

相談内容に応じて、専門スタッフが連携して、子どもの成長を支援する。

団体貸出

図書館が地域の子ども文庫や学校、保育所、PTA、事業所等の団体・グループに、図書館資料をまとめて貸出すること、また、その方法をいう。

デイジー図書

デイジー図書は、Digital Accessible Information Systemの略で、視覚障がい者や普通の印刷物を読むことが困難な方々のためのカセットに変わるデジタル録音図書のこと。専用の機械やパソコンのソフトウェアで再生できる。

図書の時間

教員が子どもたちを引率のうえ来室し、自主的な読書の時間の確保、図書の貸出等、図書室で授業を行う時間。

ビブリオバトル

知的書評合戦と呼ばれるコミュニケーションゲーム。発表者数名が本紹介を行い、全員の発表が終了した後に、参加者全員で「一番読みたくなった本」に投票する。

一番得票数が多かった本がチャンプ本となる。

ファンフレンズプログラム

幼児（４～６歳）を対象とするプログラムで、楽しくワクワクして取り組めることを大切に、うたやゲーム、絵本等を取り入れ、子どもの生活に役立つ情緒的レジリエンスと社会的スキルを身に付けていくことをねらいとする。

ブックスタート

平成４年（１９９２年）、英国のバーミンガムで始まった運動。地域で生まれたすべての乳児に０歳児健診等を利用して「赤ちゃんと絵本を開くひとときの楽しさや大切さ」、「地域が子育てを応援していますよ」といったメッセージを伝えながら、絵本をてわたす取組。

日本では１２年（２０００年）の「子ども読書年」を機に始められ、四條畷市では、保健センターと図書館が連携して、１９年（２００３年）４月より行っている。

ブックリスト

ある基準やテーマで選択した本を紹介する簡便な選定目録。子ども向けの場合、子どもが本を読むてがかりになるように作られている。

書名、作者、出版社等のほかに、簡単な内容紹介文をつけており、形態は、１枚の紙を折り畳んだものやパンフレット状のもの等、様々である。

フロアワーク

図書館職員がフロア（館内）をめぐりながら、利用者、特に子どもからの質問に答えたり、本の案内や紹介をする読書支援のこと。子どもは、カウンターの中にいるよりフロアにいる職員の方が質問しやすく、職員も子どもからのサインや気配を感じ取りやすい。

ヤングアダルト（YA）

英語圏において、児童文学と文学一般の間に設けられたカテゴリー。年齢層としては思春期から成人後間もない層を想定している。YAは、ヤングアダルトの英語表記Young Adultの略である。

子ども読書活動に関するアンケート調査結果

調査概要

(1) 調査趣旨

第3次四條畷市子ども読書活動推進計画の策定にあたり、子どもの読書活動の現状を把握するために実施。

(2) 調査対象

配布先		対象	配布数	回収数	回収率(%)	
忍ヶ丘あおぞら こども園	0歳児クラス	保護者	5	2	40%	
	3歳児クラス		39	27	69%	
	4歳児クラス		41	21	51%	
	5歳児クラス		52	30	58%	
岡部保育所	0歳児クラス		3	3	100%	
	3歳児クラス		17	7	41%	
	5歳児クラス		18	6	33%	
児童発達支援センター				30	10	33%
市内小学校 7校	3年1組		児童	238	232	97%
	5年1組			227	222	98%
市内中学校 3校	1年1組	生徒	110	107	97%	
	3年1組		111	102	92%	
合 計			891	769	86%	

(3) 調査期間

- ・忍ヶ丘あおぞらこども園、岡部保育所、児童発達支援センター
平成30年5月29日～6月21日
- ・小学校、中学校
平成30年5月29日～6月15日

※注) 各項目の%は、小数点以下を四捨五入しています。

そのため、各項目の%の合計が100%とならない場合がありますが、合計値は100%と表記しています。

1 乳幼児保護者向けアンケート結果

(1) お子さんの年齢を教えてください

	0歳	2歳	3歳	4歳	5歳	回答計	配布数	回収率
あおぞら子ども園	2	—	27	21	30	80	137	58%
岡部保育所	3	—	7	—	6	16	38	42%
児童発達支援センター	0	5	4	1	0	10	30	33%
合計	5	5	38	22	36	106	205	52%

(2) ご家族のどなたかがお子さんと一緒に本を見たり読んだりする機会はありますか

	0歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①ほぼ毎日	0	0%	4	80%	19	50%	11	50%	8	22%	42	40%
②週1～2	5	100%	0	0%	14	37%	8	36%	16	44%	43	41%
③月1～2	0	0%	0	0%	3	8%	2	9%	8	22%	13	12%
④ほとんど無	0	0%	1	20%	2	5%	1	5%	4	11%	8	8%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	5	100%	5	100%	38	100%	22	100%	36	100%	106	100%

(3) お子さんに読んであげる本はどんな本ですか（複数回答可）

	0歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①絵本	5	100%	5	100%	38	100%	21	95%	33	92%	102	96%
②紙芝居	0	0%	0	0%	2	5%	3	14%	1	3%	6	6%
③読物	0	0%	1	20%	4	11%	2	9%	1	3%	8	8%
④乗物・生物等	0	0%	2	40%	15	39%	11	50%	11	31%	39	37%
⑤その他	0	0%	0	0%	3	8%	2	9%	1	3%	6	6%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	1	1%
合計	5	100%	8		62		39		48		162	
回答者数	5	100%	5	100%	38	100%	22	100%	36	100%	106	100%

(4) お子さんに読んであげる本は、どこで調達されますか（一つお答えください）

	0歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①図書館	0	0%	2	40%	16	42%	10	45%	9	25%	37	35%
②書店	3	60%	3	60%	19	50%	8	36%	29	81%	62	58%
③ネット	0	0%	1	20%	3	8%	1	5%	3	8%	8	8%

④その他	3	60%	2	40%	7	18%	4	18%	2	6%	18	17%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	6		8		45		23		43		125	
回答者数	5	100%	5	100%	38	100%	22	100%	36	100%	106	100%

※一人で複数回答している場合も有効としてすべてを集計

(5) 図書館はどのくらい利用されますか

	0歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①2週1回	0	0%	1	20%	10	26%	8	36%	4	11%	23	22%
②月1回	0	0%	1	20%	5	13%	3	14%	6	17%	15	14%
③半年2~3	1	20%	0	0%	6	16%	3	14%	5	14%	15	14%
④ほとんど無	4	80%	3	60%	17	45%	8	36%	21	58%	53	50%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	5	100%	5	100%	38	100%	22	100%	36	100%	106	100%

<参考>子どもの本の調達方法と図書館利用頻度との相関関係

図書館利用頻度↓	子どもの本の調達方法									
	①図書館		②書店		③インターネット		④その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①2週に1回以上	23	62%	5	8%	0	0%	1	6%	29	23%
②月に1回	11	30%	7	11%	0	0%	2	11%	20	16%
③半年に2~3回	3	8%	12	19%	1	13%	4	22%	20	16%
④ほとんど利用しない	0	0%	38	61%	7	88%	11	61%	56	45%
合計	37	100%	62	100%	8	100%	18	100%	125	100%

(6) アンケートご回答者の方ご自身は、普段1か月あたりどのくらい本を読みますか

	0歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①殆ど0	4	80%	5	100%	21	55%	12	55%	23	64%	65	61%
②1~2冊	0	0%	0	0%	14	37%	8	36%	9	25%	31	29%
③3~5冊	1	20%	0	0%	2	5%	2	9%	2	6%	7	7%
④6冊以上	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	2	6%	3	3%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	5	100%	5	100%	38	100%	22	100%	36	100%	106	100%

<参考>保護者が1か月に読む冊数と子どもの本の調達方法の相関関係

子どもの本の調達方法↓	保護者が1か月に読む冊数									
	①殆ど0		②1～2冊		③3～5冊		④6冊以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①図書館	17	22%	14	42%	4	44%	2	50%	37	30%
②書店	42	53%	15	45%	3	33%	2	50%	62	50%
③インターネット	4	5%	3	9%	1	11%	0	0%	8	6%
④その他	16	20%	1	3%	1	11%	0	0%	18	14%
合計	79	100%	33	100%	9	100%	4	100%	125	100%

<参考>保護者が1か月に読む冊数と図書館利用頻度の相関関係

図書館利用頻度↓	保護者が1か月に読む冊数									
	①殆どゼロ		②1～2冊		③3～5冊		④6冊以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①2週間に1回以上	8	12%	10	32%	3	43%	2	67%	23	22%
②月に1回	7	11%	7	23%	1	14%	0	0%	15	14%
③半年に2～3回	11	17%	3	10%	1	14%	0	0%	15	14%
④ほとんど利用しない	39	60%	11	35%	2	29%	1	33%	53	50%
合計	65	100%	31	100%	7	100%	3	100%	106	100%

<参考>保護者が1か月に読む冊数と子どもと一緒に本を読む頻度との相関関係

一緒に本を読む頻度↓	保護者が1か月に読む冊数									
	①殆どゼロ		②1～2冊		③3～5冊		④6冊以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①ほとんど毎日	17	26%	20	65%	4	57%	1	33%	42	40%
②週に1～2回	33	51%	6	19%	3	43%	1	33%	43	41%
③月に1～2回	8	12%	4	13%	0	0%	1	33%	13	12%
④ほとんどない	7	11%	1	3%	0	0%	0	0%	8	8%
合計	65	100%	31	100%	7	100%	3	100%	106	100%

(7) 子どもにとっての読書する意義として次のうち最も適当だと思うものはどれですか

	0歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①学力向上	0	0%	1	20%	2	5%	0	0%	6	17%	9	8%
②想像力育	4	80%	0	0%	19	50%	17	77%	18	50%	58	55%
③表現力育	1	20%	2	40%	12	32%	5	23%	8	22%	28	26%
④知識取得	0	0%	1	20%	10	26%	2	9%	7	19%	20	19%

⑤共感性育	0	0%	2	40%	6	16%	1	5%	6	17%	15	14%
⑥その他	0	0%	0	0%	1	3%	2	9%	1	3%	4	4%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	5		6		50		27		46		134	
回答者数	5	100%	5	100%	38	100%	22	100%	36	100%	106	100%

※一人で複数回答している場合も有効とした

2 市内小学生向けアンケート結果

(1) あなたの学校名と学年を教えてください

学校↓	3 学年			5 学年			合計		
	人数	回収	回収率	人数	回収	回収率	人数	回収	回収率
田原	30	30	100%	32	32	100%	62	62	100%
四條畷	41	38	93%	31	31	100%	72	69	96%
南	28	28	100%	39	38	97%	67	66	99%
忍ヶ丘	37	37	100%	42	40	95%	79	77	97%
東	31	31	100%	23	23	100%	54	54	100%
岡部	35	33	94%	31	31	100%	66	64	97%
くすのき	36	35	97%	29	27	93%	65	62	95%
合計	238	232	97%	227	222	98%	465	454	98%

(2) 読書は好きですか

	3 学年		5 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①好き	129	56%	119	54%	248	55%
②どちらかという好き	34	15%	41	18%	75	17%
③ふつう	58	25%	45	20%	103	23%
④どちらかという嫌い	4	2%	10	5%	14	3%
⑤嫌い	6	3%	7	3%	13	3%
無回答	1	0%	0	0%	1	0%
合計	232	100%	222	100%	454	100%

(3) 上の質問で④か⑤と回答した人にお聞きします。読書が嫌いな理由は何ですか

	3 学年		5 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①漢字が苦手だから	0	0%	1	6%	1	4%
②文章を読むのが苦手だから	7	70%	8	47%	15	56%
③読んでも楽しくないから	1	10%	6	35%	7	26%
④その他	2	20%	2	12%	4	15%
合計	10	100%	17	100%	27	100%

(4) 普段1か月の間にどのくらい本を読みますか

	3 学年		5 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①ほとんど読まない	6	3%	13	6%	19	4%
②1冊	18	8%	26	12%	44	10%
③2～5冊	73	31%	95	43%	168	37%
④6～9冊	48	21%	39	18%	87	19%
⑤10冊以上	83	36%	46	21%	129	28%
無回答	4	2%	3	1%	7	2%
合計	232	100%	222	100%	454	100%

<参考> 読書の好き嫌いとお本を読む冊数との相関関係

1月の 読書量 ↓	読書は好きですか													
	①好き		②どちらか という和好		③ふつう		④どちらか というと嫌		⑤嫌い		無回答		合計	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
①0	2	1%	2	3%	5	5%	4	29%	6	46%	0	0%	19	4%
②1冊	13	5%	10	13%	15	15%	2	14%	4	31%	0	0%	44	10%
③2～	77	31%	35	47%	47	46%	8	57%	1	8%	0	0%	168	37%
④6～	48	19%	20	27%	18	17%	0	0%	1	8%	0	0%	87	19%
⑤10～	106	43%	8	11%	13	13%	0	0%	1	8%	1	100%	129	28%
無回答	2	1%	0	0%	5	5%	0	0%	0	0%	0	0%	7	2%
合計	248	100%	75	100%	103	100%	14	100%	13	100%	1	100%	454	100%

(5) どんな本が好きですか (2つまでえらんで教えてください)

	3学年		5学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①絵本	43	19%	32	14%	75	17%
②小説などの読み物	40	17%	104	47%	144	32%
③伝記	15	6%	49	22%	64	14%
④歴史	42	18%	30	14%	72	16%
⑤のりものの本	11	5%	2	1%	13	3%
⑥生き物の本	57	25%	35	16%	92	20%
⑦算数・科学の本	33	14%	14	6%	47	10%
⑧スポーツ	45	19%	43	19%	88	19%
⑨工作など物を作る本	42	18%	27	12%	69	15%
⑩その他	43	19%	38	17%	81	18%
無回答	3	1%	4	2%	7	2%
合計	374		378		752	
回答者数	232	100%	222	100%	454	100%

(6) 読書以外で好きなことはありますか (2つまでえらんで教えてください)

	3学年		5学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①スポーツ	89	38%	107	48%	196	43%
②ゲーム	119	51%	120	54%	239	53%
③テレビ・DVD	52	22%	45	20%	97	21%
④インターネット	30	13%	18	8%	48	11%
⑤音楽	62	27%	62	28%	124	27%
⑥絵を描く	66	28%	56	25%	122	27%
⑦その他	16	7%	14	6%	30	7%
無回答	1	0%	3	1%	4	1%
合計	435		425		860	
回答者数	232	100%	222	100%	454	100%

<参考> 読書以外で好きなことと本を読む冊数との相関関係

好きなこと ↓	1か月の間に読む冊数													
	①殆ど0		②1冊		③2～5冊		④6～9冊		⑤10冊～		無回答		合計	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
①スポーツ	6	32%	20	45%	81	48%	39	45%	48	37%	2	29%	196	43%
②ゲーム	14	74%	27	61%	85	51%	49	56%	61	47%	3	43%	239	53%
③TV,DVD	5	26%	10	23%	32	19%	21	24%	28	22%	1	14%	97	21%
④ネット	4	21%	5	11%	10	6%	7	8%	22	17%	0	0%	48	11%
⑤音楽	5	26%	7	16%	47	28%	25	29%	37	29%	3	43%	124	27%
⑥絵を描く	0	0%	9	20%	48	29%	25	29%	39	30%	1	14%	122	27%
⑦その他	1	5%	3	7%	11	7%	3	3%	11	9%	1	14%	30	7%
無回答	0	0%	1	2%	1	1%	0	0%	1	1%	1	14%	4	1%
合計	35		82		315		169		247		12		860	
回答者数	19	100%	44	100%	168	100%	87	100%	129	100%	7	100%	454	100%

(7) 業間やお昼の休み時間にどのくらい学校の図書室へ行きますか

	3学年		5学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①ほとんど毎日	17	7%	8	4%	25	6%
②1週間に1～2回	82	35%	43	19%	125	28%
③1か月に1～2回	37	16%	42	19%	79	17%
④学期の間に1～2回	19	8%	29	13%	48	11%
⑤ほとんど行かない	75	32%	98	44%	173	38%
無回答	2	1%	2	1%	4	1%
合計	232	100%	222	100%	454	100%

(8) 四條畷市立図書館へはどのくらい行きますか

	3学年		5学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①よく行く	45	19%	22	10%	67	15%
②ときどき行く	103	44%	95	43%	198	44%
③ほとんど行かない	53	23%	84	38%	137	30%
④行ったことがない	28	12%	20	9%	48	11%
無回答	3	1%	1	0%	4	1%
合計	232	100%	222	100%	454	100%

(9) 小さいころお家の人に本を読んでもらっていましたか

	3 学年		5 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①よく読んでもらっていた	90	39%	100	45%	190	42%
②ときどき読んでもらっていた	46	20%	57	26%	103	23%
③あまり読んでもらっていなかった	28	12%	11	5%	39	9%
④おぼえていない	63	27%	52	23%	115	25%
無回答	5	2%	2	1%	7	2%
合計	232	100%	222	100%	454	100%

<参考>小さい頃の読み聞かせと読書好きとの相関関係

読書は好き か↓	小さいころ読んでもらっていたか											
	①よく		②ときどき		③あまり		④覚えてない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①好き	126	66%	49	48%	14	36%	57	50%	2	29%	248	55%
② ※	24	13%	24	23%	7	18%	20	17%	0	0%	75	17%
③ふつう	32	17%	24	23%	12	31%	30	26%	5	71%	103	23%
④ ※	4	2%	4	4%	3	8%	3	3%	0	0%	14	3%
⑤嫌い	3	2%	2	2%	3	8%	5	4%	0	0%	13	3%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%
合計	190	100%	103	100%	39	100%	115	100%	7	100%	454	100%

※②=どちらかというとき、④=どちらかという嫌い

3 市内中学生向けアンケート結果

(1) あなたの学校名と学年を教えてください。

学校↓	1 学年			3 学年			合計		
	人数	回収	回収率	人数	回収	回収率	人数	回収	回収率
四條畷	39	39	100%	36	32	89%	75	71	95%
西	37	36	97%	38	34	93%	75	70	93%
田原	34	32	94%	37	36	97%	71	68	96%
合計	110	107	97%	111	102	92%	221	209	95%

(2) 読書は好きですか

	1 学年		3 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①好き	41	38%	33	32%	74	35%
②どちらかというが好き	26	24%	17	17%	43	21%
③ふつう	26	24%	32	31%	58	28%
④どちらかという嫌い	6	6%	10	10%	16	8%
⑤嫌い	8	7%	9	9%	17	8%
無回答	0	0%	1	1%	1	0%
合計	107	100%	102	100%	209	100%

(3) 普段1か月の間にどのくらい本を読みますか

	1 学年		3 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①ほとんど読まない	17	16%	33	32%	50	24%
②1冊	26	24%	35	34%	61	29%
③2～5冊	45	42%	26	25%	71	34%
④6～9冊	10	9%	3	3%	13	6%
⑤10冊以上	9	8%	5	5%	14	7%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%
合計	107	100%	102	100%	209	100%

<参考> 読書の好き嫌いとは1か月の読書量との相関関係

読書量 ↓	読書は好きですか													
	①好き		②※		③ふつう		④※		⑤嫌い		無回答		合計	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
①0	2	3%	6	14%	21	36%	7	44%	13	76%	1	100%	50	24%
②1冊	11	15%	14	33%	24	41%	8	50%	4	24%	0	0%	61	29%
③2~5	38	51%	20	47%	12	21%	1	6%	0	0%	0	0%	71	34%
④6~9	11	15%	1	2%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	13	6%
⑤10~	12	16%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	14	7%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	74	100%	43	100%	58	100%	16	100%	17	100%	1	100%	209	100%

※②=どちらかというが好き、④=どちらかという嫌い

(4) 好きな本のジャンルは何ですか (複数回答可)

	1 学年		3 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①小説	82	77%	80	78%	162	78%
②伝記	20	19%	3	3%	23	11%
③歴史	27	25%	12	12%	39	19%
④政治・経済	6	6%	1	1%	7	3%
⑤数学	6	6%	1	1%	7	3%
⑥科学	17	16%	1	1%	18	9%
⑦音楽	6	6%	1	1%	7	3%
⑧美術	3	3%	3	3%	6	3%
⑨スポーツ	32	30%	23	23%	55	26%
⑩その他	18	17%	15	15%	33	16%
無回答	2	2%	0	0%	2	1%
合計	219		140		359	
回答者数	107	100%	102	100%	209	100%

(5) 本を選ぶ時に参考にするものは何ですか (複数回答可)

	1 学年		3 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①インターネットやTV	32	30%	32	31%	64	31%
②友達に聞いて	26	24%	21	21%	47	22%
③先生に聞いて	1	1%	1	1%	2	1%
④家族に聞いて	16	15%	10	10%	26	12%
⑤本屋で見て	85	79%	73	72%	158	76%
⑥その他	13	12%	12	12%	25	12%
無回答	1	1%	1	1%	2	1%
合計	174		150		324	
回答者数	107	100%	100	100%	209	100%

<参考>本を読む冊数と本選びの参考にするものとの相関関係

本選びの参考↓	1か月の間に読む冊数											
	①殆どゼロ		②1冊		③2～5冊		④6～9冊		⑤10冊～		合計	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
①ネット等	9	18%	16	26%	29	41%	3	23%	7	50%	64	31%
②友達に	7	14%	9	15%	19	27%	6	46%	6	43%	47	22%
③先生に	0	0%	0	0%	1	1%	1	8%	0	0%	2	1%
④家族に	2	4%	8	13%	11	15%	2	15%	3	21%	26	12%
⑤本屋で	27	54%	44	72%	62	87%	12	92%	13	93%	158	76%
⑥他	12	24%	7	11%	3	4%	3	23%	0	0%	25	12%
無回答	1	2%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	2	1%
合計	58	116%	84	138%	126	177%	27	208%	29	207%	324	155%
回答者	50	100%	61	100%	71	100%	13	100%	14	100%	209	100%

(6) 読書以外で好きなことは何ですか (複数回答可)

	1学年		3学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①スポーツ	69	64%	61	60%	130	62%
②ゲーム	55	51%	51	50%	106	51%
③テレビ、DVD	51	48%	44	43%	95	45%
④インターネット	38	36%	49	48%	87	42%
⑤音楽	51	48%	56	55%	107	51%
⑥絵を描く	17	16%	12	12%	29	14%
⑦その他	9	8%	5	5%	14	7%
無回答	3	3%	0	0%	3	1%
合計	293		278		571	
回答者数	107	100%	102	100%	209	100%

<参考>読書以外で好きなことと本を読む冊数との相関関係

好きなこと↓	1か月の間に読む冊数											
	①殆ど0		②1冊		③2～5冊		④6～9冊		⑤10冊～		合計	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
①スポーツ	37	74%	36	59%	37	52%	10	77%	10	71%	130	62%
②ゲーム	29	58%	25	41%	35	49%	9	69%	8	57%	106	51%
③テレビ、DVD	27	54%	25	41%	33	46%	7	54%	3	21%	95	45%
④インターネット	21	42%	26	43%	29	41%	6	46%	5	36%	87	42%
⑤音楽	23	46%	30	49%	40	56%	7	54%	7	50%	107	51%

⑥絵を描く	4	8%	4	7%	12	17%	4	31%	5	36%	29	14%
⑦その他	1	2%	1	2%	8	11%	1	8%	3	21%	14	7%
無回答	0	0%	1	2%	1	1%	0	0%	1	7%	3	1%
合計	142		148		195		44		42		571	
回答者数	50	100%	61	100%	71	100%	13	100%	14	100%	209	100%

(7) 学校の図書室へはどのくらい行きますか

	1 学年		3 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①ほとんど毎日	7	7%	1	1%	8	4%
②1週間に1～2回	21	20%	12	12%	33	16%
③1か月に1～2回	18	17%	7	7%	25	12%
④学期の間に1～2	11	10%	11	11%	22	11%
⑤ほとんど行かない	47	44%	71	70%	118	56%
無回答	3	3%	0	0%	3	1%
合計	107	100%	102	100%	209	100%

(8) 四條畷市立図書館へはどのくらい行きますか

	1 学年		3 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①よく行く	2	2%	1	1%	3	1%
②ときどき行く	43	40%	16	16%	59	28%
③ほとんど行かない	48	45%	78	76%	126	60%
④行ったことがない	11	10%	7	7%	18	9%
無回答	3	3%	0	0%	3	1%
合計	107	100%	102	100%	209	100%

(9) 小さいころお家の人に本を読んでもらっていましたか

	1 学年		3 学年		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①よく読んでもらっていた	49	46%	41	40%	90	43%
②ときどき読んでもらっていた	26	24%	31	30%	57	27%
③あまり読んでもらってなかった	4	4%	3	3%	7	3%
④おぼえていない	25	23%	27	26%	52	25%
無回答	3	3%	0	0%	3	1%
合計	107	100%	102	100%	209	100%

<参考>小さい頃の読み聞かせと読書好きとの相関関係

読書は好きか↓	小さいころ読んでもらっていたか											
	①よく		②ときどき		③あまり		④覚えてない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①好き	41	46%	15	26%	3	43%	14	27%	1	33%	74	35%
② ※	21	23%	14	25%	0	0%	6	12%	2	67%	43	21%
③ふつう	19	21%	17	30%	4	57%	18	35%	0	0%	58	28%
④ ※	3	3%	6	11%	0	0%	7	13%	0	0%	16	8%
⑤嫌い	6	7%	5	9%	0	0%	6	12%	0	0%	17	8%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	1	0%
合計	90	100%	57	100%	7	100%	52	100%	3	100%	209	100%

※②=どちらかというとき、④=どちらかという嫌い